

1935-1938

3



5 年計画の成功

3 戦力の歩兵ユニットを 2 個追加します。

ソビエト連邦の計画経済は常に成功したわけではありませんが、戦時産業への資源集中を可能にしました。

29

1935-1938

2



コミンテルン

次の介入判定から 1 を引きます。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

ソビエト連邦は他国の左翼組織を利用して様々な成功を収め、自らの目的を推進しました。

30

1935-1938

2



カジャンダー・モデル

2 つのフィンランド歩兵ユニットの戦力を 1 減少させます。

後からみれば 1930 年代のフィンランドの防衛予算は不十分でした。カジャンデル首相は戦後責任を追求され、彼を皮肉って民間服に丹斑章と軍用ベルトを付けただけの軍服を「カジャンダー・モデル」と呼びました。

31

1935-1938

2



ヤルツェフ交渉 *

次の介入判定から 1 を引きます。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

1938 年、ソ連特使は NKVD 代表のヤルツェフ（本名リフキン）をフィンランドに派遣し、秘密裏にフィンランドがドイツに攻撃された場合の支援計画を交渉しました。長期に渡る交渉は成果をもたらさず終わりました。

32

1935-1938

2



フィンランド移民共産主義者 *

カレリア地峡、またはラドガカレリアに 1 戦力の歩兵ユニット 2 個を追加します。

フィンランド内戦が 1918 年に終結した際、赤軍残党の一部はソ連に逃亡しました。1930 年代の不況では親ソビエトのフィンランド人が国外へ逃れました。彼らの多くはソ連領のカレリア共和国の国境近くに定住しました。

33

1935-1938

2



ソ連のスパイ活動

1 ボックスで最大 2 ユニットまでを活性化します。これらのユニットは、このターンの攻撃判定に +1 を得ます。

ソビエト連邦は軍事防衛の情報を得るためにスパイ活動を積極的に利用しました。これは 1930 年代のフィンランドでも成功しました。

34

1935-1938

2



地下共産主義者

フィンランドの歩兵ユニット 1 個の戦力を 1 減らし、そのユニットが除去されない限り、ソ連の歩兵ユニット 1 個の戦力を 1 増やします。

1918 年の内戦の後、フィンランドでは共産主義運動が禁止されました。しかし彼らは地下活動を続け、ソ連を支援しようとしました。

35

1935-1938

2



スペイン内戦の退役軍人 *

3 個のユニットの戦力を 1 増加させます。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

ソビエト連邦は、スペインでのフランコとの戦いを支援しました。多くのソ連兵がそこで戦術経験を積み、後の戦争で役立つことが証明されました。

36

1939

3



モロトフ・リッペンロップ協定 *

戦力 3 の歩兵ユニット 1 個と 2 戦力の装甲ユニット 1 個を追加します。


平和期間中のみイベントとして宣言できます。

1939 年の秘密議定書で、ソビエト連邦とドイツは東ヨーロッパを互いの勢力圏に分割しました。フィンランドはソビエト連邦に属していました。

37

1939

3



バルチック基地 *

2戦力の歩兵ユニットを2つ追加します。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

1939年の秋、ソ連はバルト諸国のすべてに軍事基地を要求し、それは実現しました。こうしてフィンランド湾以南の軍事的脅威はすべて排除されました。

38

1939

2



プロパガンダの増加

2戦力の歩兵ユニットを2つ追加します。

戦争の準備が急速に進むにつれ、ソ連はフィンランドによる侵略の疑惑について非常に誇張されたプロパガンダを広めました。

39

1939

3



東ポーランドの占領 *

3戦力の歩兵ユニット1個と1戦力の機甲ユニット1個を追加します。


平和期間中のみイベントとして宣言できます。

ドイツによる防衛線突破の後、ソビエト連邦も最小限の損失で東ポーランドを占領しました。

40

1939

3



日本との平和 *


2つのユニットの戦力を1増加させ、2つのユニットを移動させます。

1930年代の国境紛争は本格的な戦闘へと拡大しソ連がリヒン・ゴルで勝利しました。これによりソビエト連邦はその戦力を西側に向けてことができました。

41

DECEMBER

3



スターリンの誕生日 *

1ボックスに最大2ユニットまで活性化可能。これらのユニットは、このターンの攻撃判定に+1を得ます。

スターリンの誕生日は12月18日でした。赤軍はこの日までに勝利を望んでいました。

42

DECEMBER

2



テリヨキ政府 *


1ボックスの最大2ユニットまで活性化可能。これらのユニットは、このターンの攻撃判定に+1を得ます。次の介入判定に+1を加えます。

ソ連はフィンランド共産主義者の傀儡政府を樹立し、しばらく公式政府と交渉を拒否しました。テリヨキ政府は他国では承認されませんでした。ソ連は自らを解放者として宣伝しました。

43

DECEMBER

3



患者の用事 *


最前線にいる2つのフィンランド歩兵ユニットを活性化させ、ソ連軍ユニットへの攻撃を強要します。防御側のユニットは、防御判定に+2を獲得します。

フィンランドは12月にカレリア地峡へ反撃を試みましたが、資源不足でタイミングの悪い攻撃でフィンランドのみが損失を被りました。

44

DECEMBER

3



ウラァァァァー！


1つのボックスにいるすべての歩兵ユニットを活性化し、攻撃判定に+1を得ます。戦闘後、通常の戦闘損失に加えて、活性化されたすべてのユニットを1戦力ずつ減少させます。

ソビエトの歩兵戦術は損害を度外視した集団突撃を基本としていました。これは時に勝利をもたらす一方、損害もまた甚大でした。

45

JANUARY

2



スターリンによる攻勢継続命令


このカードを自分の前のテーブルに置きます。その後のラウンドで、ソビエトの攻撃の後、同じユニットで再度攻撃します。前の攻撃からのボーナスなし。

攻撃後、これらのユニットは通常の戦闘損失に加えて、戦力を1減少させます。その後、そのカードを捨て札デッキに置きます。

スターリンは戦争の全期間を通じて、指揮官たちに損害を度外視した積極姿勢を要求しました。

46

JANUARY **3**




装甲攻撃

最大3つの装甲ユニットを活性化します。制限なしに行動できるエリアで攻撃する場合、このターンの攻撃判定に+2を得ます。

赤軍は戦争の全期間、装甲戦力で優越していました（時には100倍）。地形が戦車に有利なことは非常に希でしたが、そのような時の効果は絶大でした。

47

JANUARY **3**



ウクライナ予備軍 *


3戦力の歩兵ユニット2つを前線よりも後方のいずれかのボックスに配置します。

ユニットを除去しない範囲で、ソビエト歩兵ユニット3個の戦力を1ずつ減少させます。

戦争長期化により当初計画は崩れ、ソビエト指導部はレニングラード軍管区の戦力不足を認識しました。ウクライナなど各所から増援が送られましたが、それらの多くは冬季装備が不足していました。

48

FEBRUARY **3**




大規模攻勢

カレリア地峡の2つのボックスにあるすべてのユニットを活性化します。このターン、これらのユニットの攻撃判定は+2されます。

増援を受け、初期の敗北から立ち直ったソ連軍は、2月にはフィンランドの防衛線を突破するため、カレリア地峡で大規模な攻勢を断行しました。

49

FEBRUARY **2**



コミッサール（政治将校） *

最大4ユニットを活性化します。それらは2ボックス先まで移動できますが、前線で移動を終了することはできません。

政治将校は大きな権限を持ち、追加の補給すら手配可能でしたが、軍事作戦を指揮する能力はありませんでした。

50

FEBRUARY **2**




コロンタイ夫人 *

次の介入判定から2を引きます。

アレクサンドラ・コロンタイは、世界で初めての女性外交官でした。冬戦争の間、彼女はストックホルムで大使を務めました。彼女はフィンランド政府にソ連による交渉再開の意向伝え、1月の和平交渉を成立させました。

51

FEBRUARY **2**




ウォッカの配給

最大4ユニットを活性化します。これらのユニットが攻撃した場合、防御側はこのターンの防御判定に+1を得ます。

ソビエト軍は攻撃前の兵士達を励ます為、たびたびウォッカを配給しました。これは戦意向上へと繋がる一方で、酔った兵士たちの損害も増大しました。

52

MARCH **3**



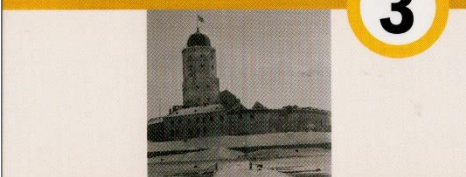
スウェーデン、介入部隊の通過を拒否 *

次の介入判定から2を引きます。

スウェーデンは、北スウェーデンを通過する連合軍がキールナ鉱山を占領することを恐れ、この地方への進入を拒否しました。

53

MARCH **3**



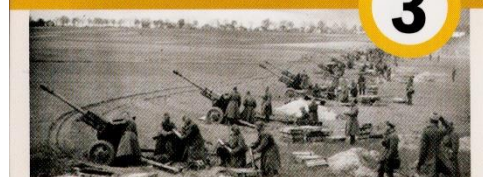
ヴィボルグ湾の氷上攻撃 *

カレリア地峡で最大3ユニットを活性化します。このターン、このユニットの攻撃判定は+2されます。

厳冬はヴィボルグ湾を凍らせ戦車が通過可能となり、戦争末期にソビエト軍は氷上攻撃を試みましたが。

54

MARCH **3**



大規模支援砲撃 *

カレリア地峡で最大4ユニットを活性化します。それらの少なくとも1ユニットが攻撃した場合、フィンランド側の2ユニットの戦力を戦闘前に1減少させます。

戦争末期にソ連軍はカレリア地峡に砲兵を集中させ、最大で1kmあたり50～100門の大砲が集結しました。これは戦線突破に大きく寄与しました。

55